

「関東アコ 30周年記念コンサート」実行委員会だより

開催日並びに会場 2020年3月8日（日）会場：墨田区曳舟文化センター



第4回練習のまとめ

音源の紹介！

Chick・Corea 作曲「Spain」

ホームページに3種類の演奏がアップされています

12月15日（日）牛込箏笛市域センターに於いて午後1時から4回目の練習が行われました。体調を心配された柴崎先生は元気な姿で指導されました。

参加者はちょっと少なく23名（けがや腰痛などでお休みの方もいました。本番までまだ2カ月近くあります、時節がら体調の管理も大事ですね）

まず30分程度パートごとの練習をしました。

そして、全体練習の最初に三連符の小節とその弾き方についてももう1度確認しました。以下に三連符のある小節を記したのでパートごとに確認しましょう。

- 26小節の三連符・・・①、②、③パート
- 60小節の三連符・・・③パート
- 68～70小節。1つ飛んで72小節の三連符・・・①、⑤パート
- 93小節の三連符。1つ飛んで95～98小節の三連符・・・②パート
- 96～98小節の三連符・・・③パート
- 103～106小節の三連符・・・②、③パート
- 116小節の三連符・・・①、②、③パート
- 133小節の三連符・・・①、②、③、⑤パート
- 134小節の三連符・・・①～⑤、Bass（全パート）
- 141～142小節の三連符・・・①～⑤、Bass（全パート）
- 154小節・・・Bassパート
- 155～157小節。1つ飛んで159小節の三連符・・・①、⑤パート

以上です。

要するに、二分音符で三連符の小節（例 ）は全て「3・3・2」のリズム（例 ）に変わります。皆さんが将来力を付けて来たら三連符に挑戦しましょう（柴崎先生より）

合同練習

この「3・3・2」のリズムを手拍子で合わせてみる。先生が打つ「パンパンパン・パンパンパン・パンパン」に合わせて、生徒は「**パン**パンパン・**パン**パンパン・**パン**パン」と太字の位置で手を打ちます。これを全員で、またパートごとでもやってみました。

次に楽器を使い「シト・レ・ファ」などのコードで「ドン・パンパン・ドン・パンパン・ドン・パン」のような練習（レガートとスタッカートで）、最後は「3・3・2」のリズムを表現する先生の指揮に合わせての練習をしました。このリズムを覚えておいてください（先生より）。

さて、曲の練習にはいり、今回はイントロ（アランフェス協奏曲の部分）から始めました。指揮での、二分音符以外の三連符は三角形でとり、他の二拍子などはV（ブイ）字型で数えます（イチトウ・ニイトウ）のように。全員で8小節目からの練習です。その後しばらく頭から11小節目までの練習をし、12小節へとつながります。

16小節 *fp*（フォルテピアノ）の音の出し方を練習。最初の1音をフォルテで出したらすぐベローを止めちゃう。ベローを止めても空気は楽器の中で回転しているので余韻が残る。その状態から「」（クレシェンド）するけれども、直線的ではなくて 曲線のように少し置いてから膨らませる。この記号は16小節から17小節にまたがっています。ベース以外のパートは17小節目の3拍目で離す。（17小節目の2拍目まで頑張る）ただし、”さあん”ではなく”さん”と素早く切る。

28小節目の5パート（この部分をはっきり）

5パートの24小節  の「ミ・ソ・ド」が変わるところに“パー、パン”とアクセントを付ける。

繰り返し出てくるメロディー。68小節から75小節までの8小節間、このメロディーは、112小節目からも1、2、3パートに8小節間で来ます。さらにもう1度、154小節からまた8小節2、3パートに出て来ます。このメロディーが大好きなんですね。なので、1回目は、22小節から1、2、3パートがメロディー
2回目は、68小節から2、3パートがメロディー
3回目は、112小節から1、2、3パートがメロディー
4回目は、155小節から2、3パートがメロディー

ということは、1回目と3回目が同じで、2回目と4回目が同じなんです。微妙にちょっとずれているだけなんですね。なので、みなさん練習するときにやみくもに練習するのではなくて、そういうところを見ながら練習するといいです。

アクセントでリズムを感じよう。次は86小節の3拍目（アフタクト）から87小節～110小節の練習。ここは、2パート、3パートは1回目は休み、リピートした2回目から入るところです。

ここは、1回目休んでいるパートの人達は、我慢のところですが、裏打ちで“うんパ” “うんパ”と手拍子を打つとかできる人は何かやったらいいかなあとと思っています。ということで、ちょっと他のパートはお休みして、1パートと4パートとベースがこのフレーズでどんなことをしているか聴いてみました。1パートの97小節目アルペジオの1拍目と4拍目と7拍目に付いているアクセント、続く98小節の2拍目と5拍目のアクセント、このアクセ

ントは大事なリズムなのでしっかり出してください。

101小節からアルペジオで下がってくるところも同じです。アクセント記号を大事にしてください。ここは指を「トン・トン・トン」と使います。

次の練習は、2、3パートの88小節から、2パートの91小節目の4拍目のアクセントは、1パートを食っちゃうくらいしっかりだす。

103小節からクレッシェンドして106小節がf（フォルテ）になっています。

143小節は（2パートの例 ）全パートにアクセント記号「^」、「v」が付いています。

そして、130小節から154小節まで練習。149小節までフォルテで、150小節で全パート *p*（ピアノ）に落とします。この150小節の出だし、ピアノの柔らかい音を出すとき皆さんどうしますか。鍵盤を指で押しておいてから蛇腹を動かすといい。このとき、息をすっておいて吐きながら出す（蛇腹を動かす）といい。この練習を少しやりました。

ここで、練習の仕方についてアドバイス。・・・

みなさん、練習の仕方ですけど、練習って繰り返しますね、繰り返しなんだけど、間違えてもいいから何回も繰り返すっていうのはだめなんです。それは、間違っただことの練習です。成功した音、ちゃんと弾けている音を何回も繰り返すことによってそれを身に付ける。正しい音で正しいリズムで練習することが大事です。そのとき、ゆっくり弾くことです。できるテンポまで落として練習する。間違いのループだとなかなか上手くはならない。

時間が残りわずかになり最後に最初から通して終わりました。演奏時間は約8分だったようです。

では次回1月は10時から1日みっちり練習するので、体調の管理とスタミナを付けてきてください。楽譜、譜面台も忘れないようにお願いします。1月で何とか仕上げたいと思っています、次回はパーカッションも入りますから楽しみにしてください。2月は寝ていても弾けるようにします。皆様お疲れさまでした。（先生より）

事務局から一言

◎次回1月は、午前10時から午後5時まで取りました。会場は「スタジオフォー」です。

◎2月の練習会場も1月と同じ「スタジオフォー」ですが、時間は午後1時からです。

◎本番の衣装は、上はカラーで下は黒、靴も黒。運動靴やスニーカーでは無いものでお願いします。

◎譜面を置く台紙は当日渡します。

◎「みんなでつくりあげてきたコンサート」ということで、私たちも聴きに來る方と同様に、2千円の参加協力券を購入して、他の方の演奏を一緒に聴きます。

練習の様子→



次回（第5回）大オーケストラ練習日程

日時 1月26(日)10:00~17:00

お願い 1月の練習は、当初1泊2日の合宿を検討していましたが、いざ合宿となると参加の難しい方が多くなるとみられるので、指導される柴崎先生と話し合い、26日の1日、午前午後を有効に使って練習することになりました。1日練習になりますが参加者の皆さんご協力よろしくお願いたします。

会場 スタジオフォー 豊島区巢鴨、都営荒川線「庚申塚」駅より徒歩2分

飲食 スタジオ内で飲食可能です。昼食持参ください。

交通 山手線「大塚」駅から（5分歩き）都電荒川線に乗り換える。

荒川線「大塚駅前」駅から三ノ輪橋方面に乗り二つ目「庚申塚」駅下車。

踏切を渡り「庚申塚」の信号を左折、徒歩2分 ※駐車場は無し



■第6回練習日 2月23日（日）午後1時～5時

会場 1月と同じ「スタジオフォー」

■本番 3月8日（日）墨田区曳舟文化センター（練習時刻未定）

《問合せ先》 築山 泉：080-4145-6546

〒180-0005 東京都府中市若松 4-37-12 メール：tuki816@jcom.home.ne.jp

